

第 13 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム

プログラム

日 時： 平成 18 年 10 月 3 日（火） 13：00～17：00
大学輸血部会-日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム合同シンポジウム
認定輸血検査技師のための更新講座

平成 18 年 10 月 4 日（水） 9：00～15：00
日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム

会 場： 札幌コンベンションセンター
札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1
TEL: 011- 817-1010（代表）
<http://www.sora-scc.jp>

会 長： 笠井正晴（特定医療法人北楡会 札幌北楡病院 副院長 血液内科）

事務局：〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 6 丁目 5-1
特定医療法人北楡会 札幌北楡病院 図書室
TEL：011-865-0111 内線 1591 FAX：011-865-9719
E-mail：yuketsu@hokuyu-aoth.org

第 13 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム会長のご挨拶

第 13 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム会長
特定医療北榆会札幌北榆病院副院長・血液内科
笠井 正晴

このたび第 13 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムの会長を務めさせていただくことになりました。輸血医療は必要性を最も理解しやすい医療として認識され国民の献身的な献血という行為により成り立っており、ドナーとレシピエントとの間の文字通り血の通った医療であり、あらゆる医療分野で必要とされています。それゆえ本学会の担うべき役割は医療界全体のみならず行政とも密接に結びつく分野であります。輸血医学は細胞を単離しやすく造血幹細胞、免疫担当細胞などさまざまな細胞が存在し、それゆえに輸血医療は補充医療のみならず細胞を用いた構築医療とも置き換えることが可能であり、今般学会名も「日本輸血・細胞治療学会」へと変更されました。例年秋季シンポジウムは単独で行われていましたが、今年度より大学輸血部会、日本血液事業学会との 3 学会の合同で行う試みがなされた記念すべき学会であります。今年度のテーマは輸血医療の将来を見据え、輸血にかかわる輸血医学教育を取り上げ、高度先進医療にとって大切な「血液型不適合臓器移植を安全に行う戦略」、また基本に戻って「安全な輸血を行うための各領域の工夫」を取り上げました。認定輸血検査技師講座も合わせ開催させていただきます。10 月の札幌は秋が始まりさわやかな季節であります。多くの会員のご参加を心よりお待ちしております。

参加者へのお知らせとお願い

・参加者の方へ

1. 参加費：5,000 円（当日受付にてお支払い下さい。）
2. 参加申し込みは、10月3日（火）は正午より、4日（水）は8時30分より会場前で受け付けいたします。
3. 受付で名札（領収書兼用）とネームホルダーを受け取り、所属、氏名を記入後、二つ折りにしてネームホルダーにお入れください。入場されるときは、必ず名札を着用してください。なお、非会員の方でも参加費をお支払い頂ければ参加できます。また、この名札は日本輸血学会認定医登録更新ならびに認定輸血検査技師申請・登録更新の際の単位として認められておりますので、紛失・汚損等のないよう、大切に保管してください。なお、名札の再発行はいたしません。

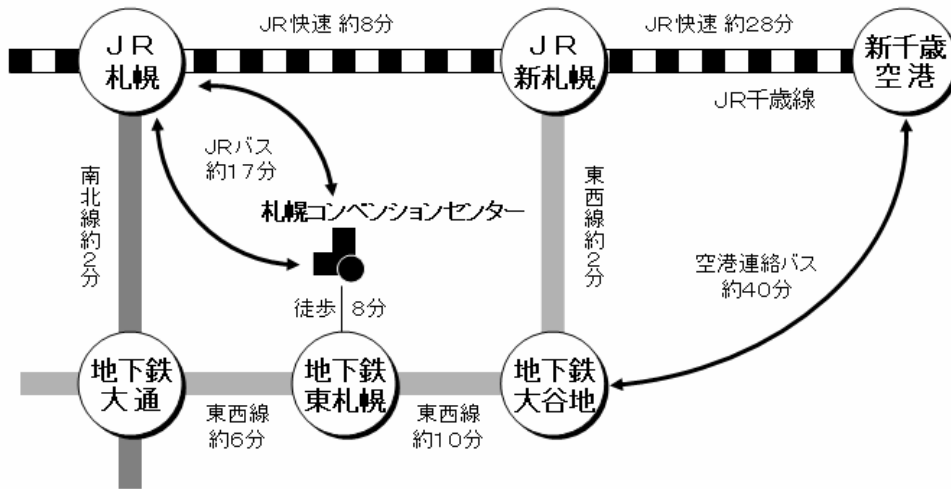
・第13回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムと第30回日本血液事業学会総会に参加される方へ

1. 第30回日本血液事業学会総会の参加者は、秋季シンポジウムの参加費が3,000円になります。血液事業学会の参加登録を済ませた後、受付にてネームカードを呈示してください。

・認定輸血検査技師更新のための講座参加の方へ

1. 参加費：更新のための講座のみ参加の場合、2,000円
なお第13回秋季シンポジウムに参加される方は参加費5,000円に含まれます。
2. 参加申し込みは、10月3日（水）正午より、会場前で受け付けいたします。
3. 「更新のための講座」を受講後、会場で入り口付近においてある受講証明チケットを受け取り、講座参加証明書交換所に提出してください。確認後、「認定輸血検査技師更新のための講座参加証明書」をお渡しします。

会場および交通のご案内



地下鉄利用の場合

東西線東札幌駅から徒歩で約 8 分です。

J R バス利用の場合

札幌駅から循環バスが運行されております。コンベンションセンター前にバス停があります。

自家用車利用の場合

当センターには立体・平面あわせて約 500 台の有料駐車場がありますのでご利用下さい。

(普通車, 最初の 2 時間 200 円, 以降 30 分ごとに 100 円です。)



第 13 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム プログラム

平成 18 年 10 月 3 日 (火)

13:00-15:00 大学輸血部会-日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム合同シンポジウム

「卒後初期臨床研修における輸血医学教育 医学部から初期研修への有機的連携を目指して」

司会 高松 純樹 名古屋大学医学部附属病院輸血部
全国大学病院輸血部会議会長 日本輸血・細胞治療学会理事長
大戸 斉 福島県立医科大学 輸血・移植免疫部

1. 医学部における輸血教育について
三枝 広人 文部科学省 高等教育局 医学教育課
2. 卒後初期研修における輸血教育について
武末 文男 厚生労働省 医薬食品局血液対策課
3. 日本赤十字社と輸血教育について
佐竹 正博 東京都赤十字血液センター
4. 大学病院における卒前・卒後輸血教育について
佐川 公矯 久留米大学病院 臨床検査部
5. 臨床研修指定病院における卒後輸血教育について
比留間 潔 東京都立駒込病院 輸血・細胞治療科
6. 輸血療法委員会活動と卒後輸血教育について
高橋 孝喜 東京大学医学部附属病院輸血部

15:00-17:00 認定輸血検査技師のための更新講座

(*更新までの 5 年間に少なくとも 1 回はこの講座への参加が必須となります。)

15:00-16:00 講座 I 司会：旭川医科大学附属病院検査 輸血部 友田 豊
「輸血後に発症した感染症の原因調査に向けて - 病院側の対応の注意点 - 」
講師 佐藤進一郎 北海道赤十字血液センター 検査部副部長

16:00-17:00 講座 司会：特定医療法人北楡会札幌北楡病院 臨床検査科 三浦 玲子
「輸血医療と保険診療」
講師 森岡 正信 愛育病院 院長

10月4日(水)

8:55-9:00 開会挨拶

9:00-11:00 シンポジウム I

「血液型不適合臓器移植を安全に行う戦略」

司会 溝口 秀昭 埼玉県赤十字血液センター
前川 平 京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部

1. 肝移植における血液型不適合移植
古川 博之 北海道大学大学院医学研究科置換外科・再生医学講座
2. 腎移植における血液型不適合移植
玉置 透 札幌北榆病院外科
3. 造血細胞移植時の血液型不適合移植の問題点
高松 博幸 金沢大学医学系研究科細胞移植学講座、輸血部
4. 血液型不適合移植を支える供給側の対応
東 寛 北海道赤十字血液センター

11:00-12:00 特別講演

「輸血医療の将来」

司会 笠井 正晴 札幌北榆病院血液内科
講師 高松 純樹 名古屋大学医学部附属病院輸血部

12:00-12:50 ランチョンセミナー

「赤血球膜の妙」

司会 今村 雅寛 北海道大学大学院医学研究科血液内科
講師 高桑 雄一 東京女子医科大学大学生化学講座

「血小板の長期保存と病原体不活性化技術の導入(仮題)」

司会 池田 久實 北海道赤十字血液センター
講師 Raymond P. Goodrich Navigant Biotechnologies, Inc.

13:00-15:00 シンポジウム II

「安全な輸血を行うための各領域の工夫」

司会 高橋 孝喜 東京大学医学部附属病院輸血部
半田 誠 慶應義塾大学輸血部、細胞治療部

1. G-CSF 動員アフェレシスドナーの安全性
甲斐 俊朗 兵庫医科大学輸血部
2. 不規則抗体を持つ患者への安全な輸血
内川 誠 東京都赤十字血液センター
3. I&A による輸血実施の安全保証
星 順隆 東京慈恵会医科大学附属病院輸血部
4. 輸血と保険制度
半田 誠 慶應義塾大学輸血部、細胞治療部

15:00-15:10 閉会挨拶